

JNSA
ANNOUNCE

1. 主催セミナーのお知らせ

● インターネット安全教室

主催：経済産業省、

NPO日本ネットワークセキュリティ協会

後援：警察庁、その他

参加費：無料

経済産業省とNPO日本ネットワークセキュリティ協会では2003年度より開催している一般の方向けの情報セキュリティ啓発セミナー、「インターネット安全教室」を今年度も全国各地で開催中です。

今年度の開催地は22～23ページの一覧表を、各地の開催要項につきましてはホームページをご覧ください。

<http://www.jnsa.org/caravan/>

2. 後援イベントのお知らせ

1. NET&COM 2007

会期：2007年2月7日(水)～9日(金) 10:00～17:00

主催：日経BP社

会場：東京ビッグサイト

<http://expo.nikkeibp.co.jp/netcom/>

2. PAGE2007

会期：2007年2月7日(水)～9日(金)

主催：社団法人日本印刷技術協会

会場：サンシャインシティ

コンベンションセンター TOKYO

<http://www.jagat.or.jp/page/>

3. HOSTING-PRO 2007 Spring

会期：2007年2月20日(火)

主催：HOSTING-PRO実行委員会

会場：青山TEPIA

<http://hosting-pro.jp/>

3. JNSA 部会・WG 2006 年度活動

1. 政策部会

(部会長：西本逸郎 氏/ラック)

調査事業や様々な基準・ガイドラインの策定、他団体との連携などを行う。

成果物目的のワーキンググループ

【セキュリティ被害調査WG】

(リーダー：山田英史 氏/ディアイティ)

例年通り、2006年1月～12月の1年間に発生する個人情報漏えい事件・事故を集計し分析する。本年度は、代表的な事例を掘り下げた分析にも取り組む予定。

予定成果物は、

1. 「2006年 情報漏えい事件・事故集計速報」
2. 「2006年 情報漏えいによる被害想定と考察」の予定。

【セキュリティ会計ガイドライン検討WG】

(リーダー：佐野智己 氏/凸版印刷)

企業における情報セキュリティ確保への取り組みを会計的視点から認識・評価・伝達(ディスクロージャー)する仕組みとして、『環境会計』に倣い、『情報セキュリティ会計』を定義し、その基本的な考え方を取りまとめる。

予定成果物は、成果報告書、雑誌コラム等の対外発表など。

【セキュア・システム開発ガイドラインWG】

(リーダー：丸山司郎 氏/ラック)

個人情報保護法施行を契機に、一般の情報システムへの管理責任が要求されるようになったが、そのレベルなどの明確な基準は存在しない。

開発システムのセキュリティ評価基準としてはISO15408が存在するが、どのレベルを選択すべきかが規定されていないことなどから、実装は難しい。

そこで、JNSAよりシステム開発に於けるセキュリティガイドラインを広く公開することにより、

1. 将来ISO15408等への国際標準への橋渡しをにらみながら、段階的に分かりやすく実施でき、
2. しかも、システムオーナーもその妥当性(システムの社会的責任と費用対効果)を合理的に判断でき、
3. 利用者の財産などの保護対策内容を明示でき、
4. システム開発者や、運用者(SI/SO)の適切な発展と競争により、
5. IT社会の健全な発展への貢献をねらうものである。

予定成果物は、システムオーナーが、RFPに記載すべきセキュリティ要件としてのセキュア・システム開発ガイドライン。

【内部統制におけるアイデンティティ管理WG】

(リーダー:宮川晃一氏/グローバルセキュリティエキスパート)
J-SOX法における「内部統制」の必要性が叫ばれている中で、ITの全般統制として、ITセキュリティに関する対応の必然性が求められている。

その中でも、アイデンティティ管理(アイデンティティ・マネージメント)分野については、セキュリティポリシーを実装する上での共通基盤として注目されている分野である。

内部統制とアイデンティティ管理の関連をWG討議の中で紐解き、必要性の啓蒙および導入指針の提示による普及促進、市場活性化を目的とする。

予定成果物は、内部統制におけるアイデンティティ管理の定義とアイデンティティ管理システム設計ガイドライン

【情報セキュリティランキングWG】

(リーダー:佐野智己氏/凸版印刷)

企業における情報セキュリティ確保に向けた取り組みを情報セキュリティガバナンスの構築状況やステークホルダーとのコミュニケーション、情報開示の充実度、社会貢献活動などの観点からランキングを算定し、定期的に公表する。

このランキングにより、上位に位置づけられた企業の取り組みを模範事例として公開し、どこまでやればいいのか分からないと言われる情報セキュリティに1つの方向性/トレンドを示したい。

勉強会目的のワーキンググループ

【スパイウェア対策啓発WG】

(リーダー:野々下幸治氏/ウェブルート・ソフトウェア)

現在の対策啓発Webの更新作業と関係省庁や他団体との勉強会及び啓発を行う。

プロジェクト

【セキュリティ市場調査WG】

(リーダー:勝見勉氏/リコー・ヒューマン・クリエイツ)

活動テーマとして、次のものを候補として掲げ、現在WGで討議中

1.平成17年度市場調査結果の二次的・多角的分析

- 2.ユーザ実態調査(2004年度調査の2回目調査)
- 3.市場分類に関する詳細な定義の記述、シソーラス的なものの作成
- 4.平成18年度版市場調査(継続調査)の実施(経済産業省から受託獲得が前提)
予定成果物は、市場調査報告書など。

2. 技術部会

(部長:二木真明氏/住商情報システム)

ネットワークセキュリティに関する調査・研究や、実証実験などを行なう。その他、予算を得た活動は、プロジェクトとして活動を進める。

成果物目的のワーキンググループ

【不正プログラム調査WG】

(リーダー:渡部章氏/アークン)

従来からのウイルスやワームなど感染を目的とした被害の他に、近年ではボットやスパイウェアなど、ハッキング、情報漏えい、詐欺などの実害を伴った不正プログラムが増加している。また、P2Pソフトによる著作権違反も問題となってきているため、マルウェア(不正プログラム全体)への対策が急務である。当WGではマルウェアとその対策の調査研究を実施し、その成果を普及させる。

予定成果物は、マルウェアの実証実験。

【ハニーポットWG】

(リーダー:園田道夫氏/JNSA 研究員)

2006年度は大規模ネットワークなどの情報解析技術の追求を行う予定。

予定成果物は、大規模ネットワークなどの情報解析技術の検討報告書など予定。

【WEBアプリケーションセキュリティ調査・検証WG】

(リーダー:加藤雅彦氏/アイアイジェイテクノロジー)

昨年度、完成できていない成果物についての継続作業と、タイムリーな技術トピックなどについての検証イベントや勉強会などを行う予定。会合中心の作業から、オンラインの掲示板やメールを活用した活動へ移行していく形で検討したい。

予定成果物は、セミナー用コンテンツ一式・Webアプリケーションセキュリティ要件ガイドライン・攻撃手法研究レポートなど。

1.平成17年度市場調査結果の二次的・多角的分析

【脆弱性定量化に向けての検討WG】

(リーダー:郷間佳市郎 氏/京セラコミュニケーションシステム)

これまでの成果を本年でまとめる予定。

成果物として脆弱性定量化に向けての検討レポートを作成する予定。

【セキュアプログラミングWG】

(リーダー:伏見論 氏/情報数理研究所)

セキュアプログラミングに関する話題と問題点の調査・討議・課題の整理、その他JNSAの活動として有益と思われる成果を出せるような活動を行う。

成果物は検討中。

【セキュアOS普及促進WG】

(リーダー:澤田栄浩 氏/日本高信頼システム株式会社)

各先進国で積極に取り組まれているセキュアOS開発が一段落を迎えようとする今、その利用について協議し、普及促進を図る段階を迎えようとしている。この流れの中で、日本でも様々なソリューションモデルを考案していく必要がある。

当WGでは、様々なタイプのセキュア基盤(OS)を利用したソリューションモデルの考案を行い、当該技術の普及促進を図り、産業界のインフラにまで発展したインターネットを、少しでも安全に利用できるよう社会貢献することを目的として活動していきたい。

勉強会目的のワーキンググループ**【暗号モジュール評価基準WG】**

(リーダー:小川博久 氏/シーフォータテクノロジー)

下記の動向把握及び、ベンダーとしての取組み方を議論し、必要に応じて提言などを行う。

- ・ 米国及び、カナダの暗号モジュールのセキュリティ要件及び、評価制度
- ・ 同要件の国際標準化
- ・ 日本国における同要件及び評価制度

【PKI相互運用技術WG】

(リーダー:松本泰 氏/セコム)

安全、安心な社会を構築する上でPKIの必要性を社会にアピールし、ネックとなるPKI相互運用性の問題などを自ら解決していく。主な活動予定は、WGの開催、IETFの参加、セミナー開催など。

プロジェクト**【Challenge PKI】**

(リーダー:松本泰 氏/セコム)

IPA公募案件が採択された。オープンでセキュアで相互運用可能なIDカードを目指して、PKIから見たICカードの相互運用性を調査するとともに、公的な目的で利用されるIDカード等に関わる問題点を探るため、行政府等のヒアリングも予定している。

3. マーケティング部会

(部会長:古川勝也 氏/マイクロソフト)

JNSA自身の認知度向上と、ネットワークセキュリティに関する普及・啓発活動を行う。

【セキュリティ啓発WG】

(リーダー:古川勝也 氏/マイクロソフト)

経済産業省の委託事業である「インターネット安全教室」の企画・運営を通してセキュリティ啓発活動を行う。今年度は独自開催の浸透に重点を置き、10月15日に普及啓発イベント「インターネット安全教室まつり」を実施した。

【セキュリティスタジアム企画・運営WG】

(リーダー:園田道夫 氏/JNSA 研究員)

セキュリティスタジアムや技術セミナーを開催し、広くセキュリティ技術の啓発を行う。

【会員製品 PR 企画検討WG】

(リーダー:玉井節朗 氏/IDG ジャパン)

会員企業の製品・企画を独自の方法で整理、分類してエンドユーザーに情報提供するサイト「JNSAセキュリティ製品バイヤーズガイド」を設け、一般企業に特に製品導入の為にガイドとして利用していただくことを目的とする。

当該サイトは「ジャンル」と「使う(使いたい)側のニーズ」といった2つの角度から分類することで、ユーザーに高い検索性を提供する特徴を備える。また、ブログを活用した(ユーザー)コメント投稿機能も備えた、双方向メディアとして、活用可能。

この度、会員企業は製品・企画等の登録、掲示、掲載を無料として11月10日に公開の運びとなった。

URL: <http://buyers.networkworld.jp/security/>

4. 教育部会

(部長:佐々木良一氏/東京電機大学教授)

ネットワークセキュリティ技術者の育成のために、産学協同プロジェクトを進め、大学や企業で行うべき教育のカリキュラムの検討やユーザー教育の在り方についての調査・検討などを行なう。

【CISSP行政情報セキュリティCBK-WG】

(旧ISSJP-WG)

(リーダー:大河内智秀氏/NTTコミュニケーションズ)

CISSP資格認定者が更に日本のセキュリティ保全の価値を高めるための上級資格(ISSJP)を日本向けに作成する試験開発活動を行う。2007年1月に第一回目試験開催を予定している。

プロジェクト

【情報セキュリティ教育実証実験プロジェクト】

(リーダー:松田剛氏/JNSA研究員)

昨年度事業の調査から、情報セキュリティ分野の人材育成を困難としている要因として、教える側(講師)の確保が難しいことが認識できた。特に地方の大学では講師の確保が極めて難しい状況で、東京との格差が大きい。

今年度はこうした格差を縮小するための方策として、JNSA会員企業で活躍している技術者を講師として依頼するとともに、遠隔受講、VoD(ビデオオンデマンド)などの手法の実証実験を行ってみる予定である。

【セキュリティリテラシーベンチマーク作成WG】

(リーダー:大溝裕則氏/JMCリスクマネジメント)

インターネットの一般利用者を対象とした、情報セキュリティに関する知識やリテラシーの向上と、自己のセキュリティ脆弱性のセルフチェックのしくみづくりとして、ホームページ上で簡単に個人のセキュリティ知識度の自己チェックができる「セキュリティリテラシーベンチマーク」を作成する。

成果物は、Web上で公開する「セキュリティリテラシーベンチマーク」。

5. ユーザー部会(新設)

ベンダー企業とユーザー企業との橋渡しのミッションを担う。氾濫するネットワークセキュリティに関する情報をユーザー企業への確に提供するとともに、各企業で生じる人材、ソリューション、情報などの課題について、

ユーザー企業の支店から整理し、JNSAの各部会へ問題提起することで、部会の活性化やベンダー企業の製品・サービスの向上に寄与することを目的とする。

6. 西日本支部

(支部長:井上陽一氏/JNSA顧問)

JNSA西日本支部は関西に拠点を置くメンバー企業の協賛の下、西日本におけるネットワーク社会のセキュリティレベルの維持・向上並びに、日々高まる情報セキュリティへのニーズに応えるべく、先進性を追及すると共に、質の高いサービスを提供する事を目的として活動する。今年度も引き続き関西方面でのセキュリティ啓発セミナーを中心に活動を行う。

【セミナー運営WG】

(リーダー:井上陽一氏/JNSA顧問)

西日本に拠点を持つ一般企業やユーザを対象に、ネットワークセキュリティに関する普及・啓発活動を行う。また西日本支部会員企業間の知識共有、西日本にてインターネット普及活動を行うNPOとのネットワークセキュリティ啓発に向けた連携を行う。その他、勉強会・セミナーの開催を予定している。

【情報セキュリティチェックシートWG】

(リーダー:嶋倉文裕氏/富士通関西中部ネットテック)

中小企業向け個人情報保護対策WGとして作成した「個人情報保護対策チェックシート」を情報セキュリティ全般を対象としたチェックシートに進化させ、中堅・中小企業の情報セキュリティ対策へのガイドラインとする。

地域性・企業規模への視点での活動が支部に与えられた命題とも考えており、関係する本部の他のWGにも、西日本支部代表として参加しながら、整合性にも配慮して行きたい。

4. JNSA 役員一覧

会 長 石田 晴久
多摩美術大学教授・東京大学名誉教授
副会長 田中 芳夫
マイクロソフト株式会社
副会長 長尾 多一郎
株式会社ネットマークス
副会長 大和 敏彦
シスコシステムズ株式会社

理 事 (50 音順)

足立 修 株式会社シマンテック
後沢 忍 三菱電機株式会社 情報技術総合研究所
内田 昌宏 株式会社ネットマークス
浦野 義朗 株式会社フォーバルクリエイティブ
甲斐 龍一郎 新日鉄ソリューションズ株式会社
川上 博康 セコムトラストシステムズ株式会社
後藤 和彦 株式会社大塚商会
小屋 晋吾 トレンドマイクロ株式会社
下村 正洋 株式会社ディアアイティ
武智 洋 横河電機株式会社
玉井 節朗 株式会社IDGジャパン
辻 久雄 NTTアドバンステクノロジー株式会社
西尾 秀一 株式会社NTTデータ
西本 逸郎 株式会社ラック
野久保 秀紀 大日本印刷株式会社
坂内 明 東芝ソリューション株式会社
日暮 則武 東京海上日動火災保険株式会社
古川 勝也 マイクロソフト株式会社
山野 修 RSAセキュリティ株式会社
吉原 勉 株式会社アイアイジェイテクノロジー
若井 順一 グローバルセキュリティエキスパート株式会社

監 事

土井 充 (公認会計士 土井充事務所)

顧 問

井上 陽一
今井 秀樹 中央大学 教授
北沢 義博 霞が関法律会計事務所 弁護士
佐々木良一 東京電機大学 教授
武藤 佳恭 慶応義塾大学 教授
前川 徹 早稲田大学 客員教授
村岡 洋一 早稲田大学 教授
安田 浩 東京大学 教授
山口 英 奈良先端科学技術大学院大学 教授
吉田 眞 東京大学 教授

事務局長

下村 正洋 株式会社ディアアイティ

5. 会員企業一覧 (2006年12月1日現在 207社 50音順)

【あ】

(株)アークン
 RSAセキュリティ(株)
 (株)アイアイジェイ テクノロジー
 (株)アイ・ソリューションズ
 (株) IT サービス
 (株) IT プロフェッショナル・グループ
 (株)アイ・ティ・フロンティア
 (株) IDG ジャパン
 アイネット・システムズ(株)
 (株) IP イノベーションズ
 アイマトリックス(株)
 (株)アクシオ
 (株)アクセス・テクノロジー
 (株)網屋(株)
 アライドテレシス
 アラクサラネットワークス(株)
 (株)アルゴ21
 (株)アルテミス
 (株) ISAO **New**
 (株)イージーネット **New**
 伊藤忠テクノサイエンス(株)
 学校法人 岩崎学園
 (株)インストラクション
 インターネット セキュリティ システムズ(株)
 インテック・ウェブ・アンド・ゲノム・インフォマティクス(株)
 (株)インテリジェントウェイブ
 インテリジェントディスク(株)
 インフォコム(株)
 (株)インフォセック
 (株)インプレスR&D
 ヴァイタル・インフォメーション(株)
 ウインモバイル(株)
 ウェブルート・ソフトウェア(株)
 ウチダインフォメーションテクノロジー (株)
 ウッドランド(株)
 AT & T グローバル・サービス(株)
 (株)エス・アイ・ディ・シー
 エス・アンド・アイ(株)

(株)エス・エス・アイ・ジェイ
 SSHコミュニケーションズ・セキュリティ(株)
 (株)エス・シー・ラボ
 NRIセキュアテクノロジーズ(株)
 NECエンジニアリング(株)
 NECソフト(株)
 NECネクサソリューションズ(株)
 NTTアドバンステクノロジー(株)
 NTTコミュニケーションズ(株)
 エヌ・ティ・ティ・コムウェア(株)
 エヌ・ティ・ティ・コムチェオ(株)
 (株) NTT データ
 (株)エネルギア・コミュニケーションズ
 F5ネットワークスジャパン(株)
 エムオーテックス(株)
 エリアビイジャパン(株)
 (株)大塚商会
 オムロンフィールドエンジニアリング(株)
 (株)オレンジソフト

【か】

(株)ガルフネット
 兼松エレクトロニクス(株) **New**
 (株)ギガプライズ
 キヤノンシステムソリューションズ(株)
 キヤノンマーケティングジャパン(株)
 九電ビジネスソリューションズ(株)
 京セラコミュニケーションシステム(株)
 (株)クインランド
 クオリティ (株)
 KLabセキュリティ (株)
 (株)クルウィット
 (株)グローバルエース
 グローバルセキュリティエキスパート(株)
 (株)コネクタス

【さ】

サードネットワークス(株)
 サーフコントロール ジャパン

サイバーソリューション(株)
 サイボウズ(株)
 (株)サイロック
 サン電子(株)
 サン・マイクロシステムズ(株)
 (株)シーエーシー
 (株)シー・エス・イー
 (株)シーフォーテクノロジー
 (株)JMCリスクマネジメント
 ジェイズ・コミュニケーション(株)
 シスコシステムズ(株)
 (株)シマンテック
 (株)ジャパンネット銀行 **New**
 寿限無(株)
 (株)翔泳社
 (株)ジュリアーニ・セキュリティ&セーフティ・アジア
 (株)情報数理研究所
 新日鉄ソリューションズ(株)
 Sky (株) **New**
 (株)ステラクラフト
 住商情報システム(株)
 住生コンピューターサービス(株)
 セキュアコンピューティングジャパン(株)
 (株)セキュアスカイ・テクノロジー
 (株)セキュアブレイン
 セキュリティ・エデュケーション・アライアンス・ジャパン
 セコム(株)
 セコムトラストシステムズ(株)
 セントラル・コンピュータ・サービス(株)
 ソニー (株)
 ソフトバンクBB (株)
 ソラン(株)
 ソラン・コムセック コンサルティング(株)
 (株)ソリトンシステムズ
 ソレキア(株)
 (株)損保ジャパン・リスクマネジメント

【た】

大興電子通信(株)

大日本印刷(株)
 (株)タクマ
 TIS (株)
 (株)ディアイティ
 テクマトリックス(株)
 デジタルアーツ(株)
 (株)電通国際情報サービス
 監査法人トーマツ
 東京エレクトロン(株)
 東京海上日動火災保険(株)
 東京日産コンピュータシステム(株)
 東芝ソリューション(株)
 東洋ネットワークシステムズ(株)
 ドコモ・システムズ(株) **New**
 凸版印刷(株)
 トップレイヤーネットワークスジャパン(株)
 トリップワイヤ・ジャパン(株)
 トレンドマイクロ(株)

【な】

(株)ニコンシステム
 西日本電信電話(株)
 日商エレクトロニクス(株)
 日信電子サービス(株)
 日本アイ・ビー・エム(株)
 日本アイ・ビー・エム システムズエンジニアリング(株)
 日本SGI (株)
 日本オラクル(株)
 日本高信頼システム(株)
 日本コモド(株)
 日本CA (株)
 日本ジオトラスト(株)
 (株)日本システムディベロップメント
 日本セーフネット(株)
 日本電気(株)
 日本電信電話(株) 情報流通プラットフォーム研究所
 日本ビジネスコンピューター (株)
 日本ヒューレット・パッカード(株)
 日本ユニシス(株)

ネクストコム(株)
 (株)ネット・タイム
 (株)ネットマークス
 ネットワンシステムズ(株)
 (株)野村総合研究所

【は】

(株)ハイエレコン
 バリオセキュア・ネットワークス(株)
 (株)ハンモック
 東日本電信電話(株)
 (株)日立システムアンドサービス
 (株)日立製作所
 日立ソフトウェアエンジニアリング(株)
 (株)PFU
 (株)フォーバル クリエイティブ
 富士ゼロックス(株)
 富士ゼロックス情報システム(株)
 富士通(株)
 富士通エフ・アイ・ピー (株)
 富士通関西中部ネットテック(株)
 富士通サポートアンドサービス(株)
 (株)富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
 (株)富士通ビジネスシステム
 富士電機アドバンステクノロジー (株)
 扶桑電通(株)
 (株)フューチャーイン
 (株)ぷららネットワークス
 (株)プリッジ・メタウェア
 (株)ブロードバンドセキュリティ
 (株)プロティビティジャパン
 ポイントセック(株)

【ま】

(株)マイクロ総合研究所
 マイクロソフト(株)
 マカフィー (株)
 松下電工(株)
 みすず監査法人

みずほ情報総研(株)
 三井物産セキュアディレクション(株)
 (株)三菱総合研究所
 三菱電機(株)情報技術総合研究所
 三菱電機情報ネットワーク(株)
 (株)メトロ

【や】

ユーテン・ネットワークス(株)
 横河電機(株)

【ら】

(株)ラック
 LANDesk Software (株) **New**
 リコーテクノシステムズ(株)
 リコー・ヒューマン・クリエイツ(株)
 菱洋エレクトロ(株)
 (株)ロックインターナショナル
 (有)ロボック

【わ】

(株)ワイ・イー・シー
 ワンビ(株) **New**

【特別会員】

特定非営利法人 アイタック
 韓国電子通信研究院
 ジャパン データ ストレージ フォーラム
 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会
 電子商取引安全技術研究組合
 東京大学大学院 工学系研究科
 社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
 社団法人 コンピュータソフトウェア協会

6. JNSA 年間活動 (2006 年度)

4月	4月11～12日	Lim Tec 2006後援	
	4月12日	JSOX 法勉強会(主婦会館プラザエフ)	
	4月14～15日	拡大幹事会(熱海大観荘)	
	4月19日	第1回幹事会	
	4月20日	第1回西日本支部会合	
	4月24日	2006年度理事会(八重洲富士屋ホテル)	
	4月28日	第1回教育部会	
5月	5月11日	セキュアプログラミングワークショップ	
	5月11～12日	ソフトウェアテストシンポジウム2006大阪協賛	
	5月15日	第1回政策部会	
	5月16日	第3回迷惑メール対策カンファレンス後援	
	5月18日	第1回技術部会リーダー会	
	5月25～27日	第10回コンピュータ犯罪に関する白浜シンポジウム後援	
	5月30日	2005年度WG成果報告会(大手町サンケイプラザ)	
	5月30日	2006年度総会(大手町サンケイプラザ)	
6月	6月5～9日	Interop Tokyo 2006 後援	
	6月15日	第4回セキュアOSカンファレンス後援	
	6月17日	ISACA大阪支部設立20周年記念講演会後援	
	6月19日	第2回幹事会	
	6月21日	第1回技術部会	
	6月22日	第2回西日本支部会	
	6月26日	内部統制におけるアイデンティティ・マネジメント研究にむけてのワークショップ	
7月	7月6日	HOSTING-PRO 2006協賛	
	7月6日	2006年度情報セキュリティ監査シンポジウム in 東京後援	
	7月7日	セキュリティ対策についてのワークショップ	
	7月12～14日	自治体総合フェア2006協賛	
	7月19日	S/MIMEワークショップ	
	7月19日	無線LANワークショップ	
	7月19～21日	ワイヤレスジャパン2006/EXPO COMM WIRELESS JAPAN 2006後援	
	7月21日	第9回西日本支部主催セキュリティセミナー(大阪国際会議場)	
	7月26日	第3回幹事会	
	7月28日	内部統制を見据えた、組織における情報セキュリティ人材育成セミナー後援	
8月	8月2日	第2回政策部会	
	8月8～12日	セキュリティキャンプ2006後援	
	8月25日	第3回西日本支部会	
9月	9月13日	「SCMフォーラム2006」協賛	2006年6月～
	9月15日	平成18年度 情報モラル啓発セミナー福島 後援	2007年3月
	9月19日	第4回西日本支部会	「インターネット
	9月20日	第4回幹事会	安全教室」開催
	9月25日	「CPO (Chief Privacy Officer) Japan Summit 2006」協力	
10月	10月5～7日	ネットワーク・セキュリティワークショップ in 越後湯沢2006協力	
	10月15日	インターネット安全教室まつり(お台場アクアシティ)	
	10月23日	平成18年度 情報モラル啓発セミナー松山 後援	
	10月26日	NSF2006 in Osaka (大阪国際会議場)	
11月	11月13～14日	「Network Security Forum2006」主催	
	11月15日	「第2回プライバシーコンサルタントサミット2006」協力	
	11月18日	「日本ITガバナンス協会設立記念カンファレンス」後援	
	11月21日	第5回幹事会	
	11月21～22日	「BUSINESS CONTINUITY MANAGEMENT 2006」「Compliance & IT 2006」 「Storage Management World 2006」後援	
	11月29～30日	「Tokyo International Security Conference 2006」後援	
12月	12月7日	Security Day 2006開催(Internet Week 2006 内)	
	12月14日	第5回西日本支部会	
	12月15日	平成18年度 情報モラル啓発セミナー 後援	
	12月18～19日	「デジタル・フォレンジックコミュニティ 2006 in Tokyo」後援	
1月	1月23日	2007年 JNSA 新年賀詞交歓会	
2月	2月7～9日	「NET&COM2007」後援	
	2月7～9日	「PAGE2007」後援	
	2月16～17日	拡大幹事会(予定)	
	2月23日	「インターネット安全教室」全国連絡会議	

★ JNSA 活動スケジュールは、<http://www.jnsa.org/active/schedule.html>に掲載しています。

★ JNSA 部会、WG の会合議事録は会員情報のページ http://www.jnsa.org/member/giji_2006/index.htmlに掲載しています。(JNSA 会員限定です)

7. JNSA について

■会員の特典

1. 各種部会、ワーキンググループ・勉強会への参加
2. セキュリティセミナーへの会員料金での参加および主催カンファレンスへの招待
3. 発行書籍・冊子の配布
4. JNSA 会報の配布（年 3 回予定）
5. メーリングリスト及び Web での情報提供
6. 活動成果の配布
7. イベント出展の際のパンフレット配付
8. 人的ネットワーク拡大の機会提供
9. 調査研究プロジェクトへの参画

8. お問い合わせ

特定非営利活動法人

日本ネットワークセキュリティ協会 事務局

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-6-35

NOF 東陽町ビル

TEL：03-5633-6061

FAX：03-5633-6062

E-Mail：sec@jnsa.org

URL：http://www.jnsa.org/

西日本支部

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島 5-14-10

カトキチ新大阪ビル（株）ディアイティ内

TEL：06-6886-5540

入会方法

Web の入会申込フォームにて Web からお申し込み、または、書面の入会申込書を FAX・郵送にてお送り下さい。折り返し事務局より入会に関する御連絡をいたします。

JNSA Press vol.18

2006 年 12 月 20 日発行

©2006 Japan Network Security Association

発行所

特定非営利活動法人 日本ネットワークセキュリティ協会 (JNSA)

〒136-0075 東京都江東区新砂 1-6-35 NOF 東陽町ビル

TEL: 03-5633-6061

FAX: 03-5633-6062

E-Mail: sec@jnsa.org

URL: http://www.jnsa.org/

印刷

プリンテックス株式会社



NPO 日本ネットワークセキュリティ協会
Japan Network Security Association

〒136-0075 東京都江東区新砂1-6-35 NOF東陽町ビル1階
TEL 03-5633-6061 FAX 03-5633-6062
E-mail: sec@jnsa.org URL: <http://www.jnsa.org/>

西日本支部

〒532-0011 大阪府大阪市淀川区西中島5-14-10 カトキチ新大阪ビル (株) デイアイティ内
TEL 06-6686-5540